

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

福知山市

事業名

子どもが主役 自ら考える「学び」と「居場所づくり」事業

事業の経過・背景・課題

本市では、不登校となる児童生徒数が、全国や京都府全体と比較して近年高い出現率となっており、その対応のため教育と福祉の連携による「福知山市型多様な学びアクションプラン」を推進している。

しかし、不登校児童生徒の中には、「けやき広場」、別室登校といった教室以外の「学びの場」や教育相談機関につながれておらず、見通しが持てないケースや不登校が長期化しているケースがあった。

児童生徒にとっての学びの場や居場所として、学校・けやき広場・家庭以外の、一人一人の状況に応じた多様な選択肢が必要であることから、家庭への寄り添い支援を担当する市長部局の子ども政策室と保健福祉の専門職（社会福祉士・保健師等）、教育委員会で構成する不登校支援連携チームを発足した。

さらに、教育機会確保法に基づく多様な学びの機会を保障するため、本市の多様な学びの場・居場所の核となる「公設フリースクールの設置」に向け、検討を重ねてきた。

取組内容

交付実績額： 10,897 千円

多様な学び、安心できる居場所「SIROらば」の確保

- 学校に行けないが、自宅以外の場所で過ごしたい子どもや、あるいは自宅から出にくい子ども向けに、学びや社会体験の機会となる居場所を設置。
- 多様な学び推進連携チームで関わるケースに子ども政策室の相談員から声かけを行い、支援員と1対1の関わりを基本として、希望に応じて時間を決めて利用できる（予約制）
- 決められたプログラムではなく、利用希望する児童生徒が何をしたいかに応じ一緒に考えながら活動を実施。
- 活動内容は、ボードゲームやオセロ、トランプ、ジンガといった遊びや、クッキング、カバン作り、教科学習など子どもたちが興味を示す学び、体験活動を実施。
- 月1回の休日個別相談会及び保護者同士の交流会の開催。



事業の成果・今後の展望等

- ・多様な学びの居場所となる『SIROらば』（予約制）を令和5年5月に開設、加えて令和6年5月からは『SIROらば+』（フリースペース）も開設した。令和6年度末現在でSIROらば実人数36人、延人数834人、SIROらば+実人数21人、延人数369人の利用があり、様々なニーズのある子どもの利用があり多くの変化も見られた。
- ・相談時に保護者の状況に合わせて面談の手法も検討し、子どもの興味があるうちに見学、利用に繋げている。見学後、学校のアナザークラスを選択する子どももあり、子ども自身が自分に合った居場所を選べる環境が整いつつある。
- ・専門職の相談については、SIROらばの見学を経て即利用に繋がる子どもも多く、継続での相談件数としては横ばい傾向であった。SIROらばにも繋がっていない子どもに対しては、自宅訪問を望まれない場合も多く、保護者と定期的に連絡を取り合ったり、語らいらばで交流を行いつつ支援を継続している。
- ・課外活動も経て、子ども達の居場所での過ごし方も幅が広がり、より子どもたち主体の居場所の運営が望まれるため、今後は、大人が決めた時間枠ではなく、子ども自身が利用日時を決め、ピア活動（仲間同士の支え合い）など主体的に活動できる環境を整えていく。

問い合わせ先

福知山市こども家庭部こども家庭支援課（0773-24-7066）